



リッセ通信 みんなの情報誌 人が・街です。【新春特別号】

リッセ情報かわら版

新潟リッセ協同組合

TEL260-5525 fax 260-5526

e-mail info@rese.or.jp

URL http://www.rese.or.jp

(かわら版は、組合サイトでもご覧頂けます)

令和8年1月5日

No.116

リッセ情報かわら版に関するやご意見、ご感想をお待ちしております。各コーナーに関する情報は取材にもお伺いしますのでお気軽にご連絡ください。(メール大歓迎)



昨年6月 組合総会懇親会で挨拶をする小泉理事長

令和6年1月に発生した能登半島地震から2年が経ちました。当団地内においても一部の事業所や公共道路などで液状化による被害を受けましたが、事業所も復旧工事をほぼ終え、公共道路復旧については、昨年6月から工事が始まり、今年3月末までには完了する予定です。

さて、昨年を振り返りますと、物価高や人手不足等、私達を取り巻く環境は一段と厳しさを増してきている状況です。そのような中、当組合では今年度、今後の組合運営の新たな目標(ビジョン)を策定するため、昨年、プロジェクトチームを発足し、「今、組合員の皆様が組合に求めていること」などについての意向調査を実施しました。意向調査は、経営者様向け、従業員様向けの2種類の調査で、組合員・準組合員全社へご協力をお願いし、経営者調査はほぼ全社からご協力を頂き、また、従業員調査でも9割近くの皆様からご協力を頂きました。これから、同調査の結果を参考に、プロジェクトチームにおいて、組合ビジョンを検討し、その後、役員会でも協議し、間に合えば今年の組合通常総会において、皆様にご説明したいと考えております。

二〇二六年 新年のご挨拶 今後の組合運営の 新たなビジョン策定に向けて

また、人手不足は各社の共通の課題であり、優秀な人材の確保は企業の発展に欠かせないことから、人材確保支援事業を組合の重要な事業と位置づけ、前年度の補助金を活用して、現在、組合で取り組んでいます。今年度は、新たに7社から参画を頂き、前年度から参画している15社と合わせて22社が参画する「新潟流通センタージョブポータル」となり、毎月web広告を実施し、また、採用担当者に向けた採用力UPセミナーを開催したりと、質、認知拡大に努め、徐々に採用実績も出てきております。この他、令和5年夏の猛暑で一部の企業においてグリーンベルト内の樹木が枯れる被害を受けました。被害に遭われた企業からは植替への相談もあり、先般実施した意向調査でも約7割の企業が補植を希望しています。総務企画委員会において、今後の対応について検討し、26日に説明会を行う予定です。費用の問題もありますが、組合としては建築協定で植栽の実施がルール化されており、団地の一体性や景観、企業のイメージアップ、街づくりの観点から補植を推進していきたいと考えておりますので、何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

今年も皆様の身近な問題などを中心に事業に取組み、役職員一人丸となって組合運営を行なうてまいりますので、今年も一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりましたが、今年の午年は「丙午(ひのえうま)」と呼ばれ、情熱や変化、力強い成長を象徴する年とされています。今年一年が皆様にとって良い年になりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶いたします。

令和八年一月
新潟リッセ協同組合
理事長 小泉 豊

秋山前理事長をはじめ5名が表彰される

新潟県中小企業団体中央会創立70周年記念式典

昨年11月28日(金)、新潟県中小企業団体中央会創立70周年記念式典が市内のホテルにおいて、約300人が出席して盛大に開催された。当日は式典において、組合運営に貢献した優良組合や功労者が表彰され、関東経済局長表彰や新潟県知事表彰など優良組合や組合功労者と優良事務局専従者が表彰を受けた。当組合からは、永年にわたり組合運営にご尽力を頂き、その功績が評価され次の方々が受表彰されました。

■全国中小企業団体中央会会長表彰(組合功労者)

秋山忠徳前理事長

■新潟県中小企業団体中央会会長表彰(組合功労者)

鈴木敬彦副理事長、腰越伸治副理事長、紫竹敏宏前理事

■新潟県中小企業団体中央会会長表彰(優良事務局専従者)

小田 豊次長

以上



団地の建築進出時に組合の建築協定に基づいて、各社グリーンベルトを設け植栽を行った。また、組合事業で40年以上に亘り、樹木の最低限な維持管理(施肥、剪定、薬剤散布)を実施し、薬剤散布の実感と景観を維持してきた。しかし、令和5年夏の猛暑によって、団地内36カ所、枯損面積1740㎡(長さ1.5km、幅約3分の1)に亘る約3分の1の樹木が枯死した。枯死した樹木は、再植栽の可能性があるが、被害を受けた企業から、

団地の一体性と景観整備
枯損した樹木の補植にご協力下さい！



現在、通りなどに4種類の樹木を植栽中

組合からのお知らせ

■ご出席下さい！新潟リッセ新年会

日時 1月22日(木) 18:30~20:30頃

会場 ANAクラウンプラザホテル新潟 2階芙蓉



■グリーンベルト内の枯損樹木の補植に関する説明会(枯損樹木企業33社対象)

日時 1月26日(月) 13:30~14:30頃

会場 新潟流通センター会館 2階会議室



■団地内事業所の動き(令和7年4月~12月)

組合脱退 株式会社 紫竹屋 (令和7年9月)



各社の求人ページは右記QRコードよりスマートフォンからご覧いただけます。▶▶



新潟流通センター
ジョブポータル
参画企業22社に

★健康づくり応援通信 v o l . 1 1 (健康に関する身近な話題を紹介)

ヒートショックにご注意を！

みなさまは「ヒートショック」をご存じですか？寒さが強まるこの時期は、急な温度変化で体に負担がかかりやすくなります。今回は冬の寒い時期に起こりやすい「ヒートショック」について、予防のポイントについてお伝えします。

ヒートショックとは

ヒートショックとは、暖かい部屋から寒い部屋への移動など、**温度の急激な変化**が体に与える影響のことです。原因は、**血圧の急激な変化**です。冷え込んだ部屋で血管が収縮し、血圧が一気に上昇します。その後、暖かいところで体が温まってくると血管が広がり、急上昇した血圧が下がります。この急激な血圧の変化により、一時的に脳内に血液が回らない脳血管障害になります。症状としては、めまいや立ちくらみ、一過性の意識障害を起こすことがあります。また、重症化すると、心臓に負担がかかり、血管が詰まってしまうことで起こる**心筋梗塞**や**脳梗塞**につながるリスクが高まります。

このような急激な温度変化は入浴前後で起こることが多く、入浴中に意識を失い、そのまま浴槽内で溺れて亡くなるという不幸の事故が起こる可能性もあります。特に高血圧の人は脳血管疾患による死亡率は冬季に高くなるため、注意が必要です。

ヒートショックの予防ポイント

ヒートショックは、持病がなくても若者でも起こるおそれがあります。「自分は元気だから大丈夫」と過信せず、「自分にも起こるかもしれない」という予防意識を持ちましょう。

ヒートショックを予防するために「入浴前」「入浴中」「入浴後」にできる予防ポイントを紹介します。

1. 入浴前

①脱衣所や浴室を温めておく

暖房器具を使う、浴槽のお湯をかき混ぜて蒸気を立てる、お湯を浴槽にためるときにシャワーを使う等、衣服を脱いでも寒いと感じにくいように温めておくことで安心です。

②十分に水分補給をする

入る前から脱水気味だと、より入浴中に水分が失われたり血圧が低下します。

③食後すぐの入浴や飲酒後、排便後入浴の入浴は避ける

食後や飲酒は一時的に血圧が下がるためその状態での入浴は血圧変動を引き起こします。

2. 入浴中

①湯舟に入る前に必ずかけ湯を行う

心臓から遠い足先から湯まで、徐々にお湯をかけて体を慣らしましょう。

②お湯の温度は41度、お湯につかる時間は10分まで

長い時間熱いお湯につかると、体温が上昇して意識障害を起こすことがあります。

③浴槽から急に立ち上がらない

入浴中は体に水圧がかかっています。その状態から急に立ち上がると、血圧が急に変動してめまいや立ちくらみを起こす危険があります。

3. 入浴後

①十分に水分補給をする

入浴中は気づかないうちに水分を失っています。脱水症状を起こさないようコップ1杯程度の水分をとりましょう。

参考：新潟県オンライン・日本気象協会(健康づくり推進課 田嶋 望 2025.12)